



地域の方々と船下り体験!

米谷小学校では、総合的な学習の時間の中で、谷を学ぶ活動に取り組んでいます。自分たちが住む登米・米谷の良さをたくさん伝えてもらいながら、学習を進めています。

2年生は川遊びを通して米谷の自然のすばらしさを、3年生は米谷の歴史、5年生は登米市の伝統野菜、6年生は郷土料理「はっと」について学習します。

4年生の北上川についての学習「北上川博士になろう」を紹介します。この学習では、地域の方々に協力していただき、船下り体験をさせてもらっています。船から観察すると新しい発見がたくさんあります。北上川の大きさを五感で感じるこ



編集委員 千葉洵奈、及川環奈、高橋日和、鈴木葵愛、小山田智典、佐々木仁(6年) 指導教諭 阿部巨平

地域が協力

地元の大切さを学ぶ活動

米谷小

学校名 登米市立米谷小学校
所在地 登米市東和町米谷越路75
電話 0220(42)2006
校長 菊 祐二郎
児童 109人



思いを引き継ぐ

校長室にバージニア・メリーという青い目の人形があります。青い目の人形は、日米親善のために送られてきましたが、太平洋戦争の時に「敵国のスパイ」として多くが処分されたそうです。その中で守られてきたメリーは、私たちに「人とつながる大切さ」「平和」を教えてください。メリーに託された思いを引き継いでいきたいです。



次回は 北仙台小(仙台市) 山下小(石巻市)

折立小

学校名 仙台市立折立小学校
所在地 仙台市青葉区折立4の2の1
電話 022(226)1333
校長 菅沢 和広
児童 279人



蕃山で再び登山

折立小の近くには蕃山ぼんざんがあります。夏は葉がしげり、秋には美しい紅葉が見られ、校歌の歌詞にもなっています。1・6年、2・5年、3・4年がグループを組んで登山をします。しかし震災で大きな被害を受け、登山ができなくなりました。地域の方々の協力で、一昨年から再び登山ができるようになりました。蕃山は私たちの誇りです。

新しい伝統

折小ソーラン次の世代へ

みなさんは東日本大震災を覚えていますか？折立小学校には、震災がきっかけでつくられた新しい伝統があります。



心を一つに！折小ソーラン

折小ソーランは、先輩のた。寄せ書きや応援のうちわも送っていた。お金の何に使うか話し合、感謝の思いを表現するとともに復興のシンボルとして、折小ソーランの法被ほっぴを作りました。その法被を着て、毎年5、6年生が運動会で披露します。6年生は5年生に踊りを教えることで自分の踊りを確認するとともに、最高学年としての自覚を持つようになります。5年生は、先輩の姿を見て真剣に練習に取り組みます。見ているのは違って踊るのは大変ですが、みんながんばって練習します。



編集委員 堀内響、高崎未来(4年) 岩松莉菜、桜庭真朱、齋藤葵恋、庄司紗羽、遠藤双葉、小野寺葉月、岩松莉央、山田凜太郎(5年) 須藤真結菜、安田杏祐、佐藤珠良(6年) 指導教諭 岸亜沙美、奈須野匡美、山口和記、渡辺健太、鈴木万友

たちから代々受け継がれてきた大切な折立小の伝統です。これからも折小ソーランを、次の世代にしっかりと受け継いでいってほしいと思います。